

# 令和5年度 前期 ビジネス・キャリア検定試験

## 1級企業法務「出題の趣旨」

### 問題1（テーマ問題）

事業者間の取引において、その取引が親事業者と下請事業者の間の取引である場合には、公正ならしめるため下請法の規制がある。また、取引上優越した地位にある事業者が、その地位を利用して不当な取引や不公正な取引を行うと独禁法による規制がある。両法の規制の内容と、その下でどのような主張ができるかについての理解を問う。

### 問題2（事例問題）

以下についての理解を問う。

- (1) 事業の譲受けを検討する場面において目的達成に最適な手段を選択し提案できるか。事業譲渡と吸収分割の違いについて法令、事実関係を踏まえて説明できるか。
- (2) 独禁法及びビジネスの観点から情報遮断の必要性について正しく理解し、具体的な方法を提案できるか。
- (3) 各条件について相手方と交渉する場面において、自社にとって有利な条件が何か理解するとともに、それを相手方の対案も予測して提示することができるか。